

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	2	1	3つの部屋に分け、活動する部屋・学習室・メインルームと分けている。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	1		基準は満たしているが、さらに職員がいれば手厚い支援ができると思う。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		4	2	現在、肢体不自由な利用児を受け入れていないが今後はバリアフリーを考えていきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6			目標設定を行い、反省や振り返りをしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	2		アンケートや面談を行い、改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			事業所評価をホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		3	3	現在、行っていないが、今後は取り入れていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	3		積極的に外部の研修に参加している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	4		利用児童のアセスメントや保護者の意向を聞き取り、個別支援計画を作成するように心がけている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	2	2	統一されたアセスメント・フェイスシートを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2		各職員が、提案をしてくれ実行をしてくれている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	3		児童に合った活動を提案し、活動に取り入れ実施している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	3		職員全体で、話し合い個々にあった支援を模索し実行している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	2		個別活動・集団活動を取り入れて行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			毎日朝礼を行い支援内容の確認を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2		終礼を行い、課題整理などを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	2		日報・行動観察記録を付けている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	3		6か月のモニタリングを行い、個別支援計画の変更を行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	2	3	1	複数の基本活動を取り入れている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			管理者が出席をしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6			学校や保護者から情報の共有を行い、問題や課題があった場合にはお互いに連絡を取り合っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		3	3	医療ケアの必要な児童の受け入れは行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	2	2	必要があったと判断した場合に連携を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		3	3	現在、卒業生がいないが、卒業生がいた場合は情報提供をしていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3	1	助言は受けているが、積極的に研修には参加できていない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	2	1	地域交流やイベントに積極的に参加している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	1		管理者が出席し、意見交換をしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	2		毎日、保護者と情報共有を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	4		職員も理解を深め、対応をしている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			見学児や契約時に丁寧な説明を心掛けている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			児童発達責任者が対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3	3	父母会や保護者会は行っていない。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	3		苦情があった際は、法人全体で対応を行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		3	3	定期的には発行していないが、イベントなどのお知らせはその都度連絡をしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	6			職員に遵守させると共に、個人情報は鍵付きの書棚に入れて保管している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			特性を理解しコミュニケーションができるように配慮を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			6	事業所の行事は開催していないが、作品展を開催し周知している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2	1	職員に周知し、非常時の保護者との連絡方法の共有を行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2	2	2	必要に応じて、避難訓練等を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	3		法人内外の研修に積極的に参加し、職員全体で対応が行えるようにしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	3		身体拘束についてのマニュアルを法人内で共有し、身体拘束について了承を得るようにしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2	2	保護者に確認をし、職員間で共通理解をしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	2	1	報告書を作成し、法人全体への報告もを行っている。